

定時総会開催

新会長に國分晃氏(国分グループ本社(株))を選任

5月31日開催の平成28年度定時総会で任期満了に伴う役員改選を行い、国分グループ本社(株)代表取締役副社長の國分晃氏が新会長に就任する新執行役員体制を選任した。会長の交代は、今回の役員改選から理事の75歳定年制度(理事会内規)を設けたことによる。前会長の國分勘兵衛氏は1992年から日食協のトップを務め、24年ぶりの会長交代となる。以下に議事録を掲載する。

開催日時 平成28年5月31日(火)13時00分～14時00分

場 所 レベル21 東京會館 スタールーム
東京都千代田区大手町 2-2-2 アーバンネットビル 21階

議 案 【報告事項】

- 第1号議案 平成27年度事業報告に関する件
- 第2号議案 平成28年度事業計画並びに収支予算の件
- 第3号議案 会員の動向に関する件

【決議事項】

- 第1号議案 平成27年度決算報告の件
- 第2号議案 役員任期満了に伴う役員改選の件
- 第3号議案 会費の額及び徴収方法の件
- 第4号議案 その他

出欠状況 会員総数 111社中 出席会員 27社 委任状出席 57社 合 計 84社
出席賛助会員 77企業 事業所会員 2名

来賓出席	農林水産省食料産業局食品流通課	課長	高橋	和宏	殿
	〃	課長補佐	北市	豊和	殿
	〃	係長	長東	正則	殿

開 会 定刻になり奥山専務理事の司会により、定足数を確認のうえ開会。

来賓の紹介後、冒頭國分勘兵衛会長が開会の挨拶を行った。

会長の國分でございます。

最初に、今回の熊本地震で被災された皆様には心よりお見舞いを申し上げます。1日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

本日は、私共日食協の定時総会にご多用の中、またご遠方からも多数のご参集をいただきまして誠にありがとうございます。

また本日多数お出まいただいております賛助会員の皆様方には、平素全国各地で日食協活動に大変お世話になっております事を重ねて厚く御礼申し上げます。

そして、公務ご多用の中、農林水産省 食料産業局 食品流通課から高橋課長様はじめ幹部の方にご来臨を賜り、平素のご指導と合わせまして厚く御礼申し上げます。

さて当協会は、ご承知の通り、昭和52年5月に設立され、今年で39年目を迎えております。流通の構造的変化の中で、我々食品卸業界も再編統合が進展し会員動向も大きな変化を示しておりますが、当協会の設立目的である加工食品流通の安定向上と企業経営の健全化に資する研鑽を今後も継続して参りますので引き続き皆様方のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

食品流通業界としては、来年4月に予定されます消費税増税時に導入されます軽減税率制度に備える必要があるかと考えております。景気動向や今回の地震の影響から再度延期されるような報道もございますので混沌としてきておりますが、先だって国税庁から軽減税率制度に関するQ&Aが公表されました。これによりますと軽減税率制度が導入されますと想像以上に小売業や外食産業の方は消費者に対して現場レベルでかなり気を使う場面がふえるような印象でございます。

また経営環境的には物流面やコスト要因等で大きな変化が見られますが、こうした状況は一過性のものではなく、少子高齢化社会の影響を強く受けた構造的課題として中長期的に継続するものと考えなければならないと認識いたしております。したがって当協会が主体となってIOTや人工知能、ビッグデータなどの先進情報技術の導入を業界として研究し、環境対応、物流革新、災害対応などの業界の諸問題に対応していく必要があろうかと考えております。

そのためには会員相互が“競争と協調”ということをよく理解して、1社、1社では実現できない、協会活動だからこそできる成果を目指して活動し、中間流通業の存在価値を高めていく必要があるのではないかと思います。

本日は平成27年度の事業報告や平成28年度の計画等につきまして御諮りしたいと考えております。また、今年は役員の改選年度でございます。役員につきまして今年度より理事の定年制度や会長選考委員会の設置を行いまして、協会運営の公平性、透明性を確保して環境変化に対応し、緊張感のある運営をして参る考えでございます。それぞれにご充分にご審議をお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げまして、甚だ簡単ではございますが私の開会の挨拶とさせていただきます。

次いで来賓の農林水産省の幹部の皆さまを紹介し、代表して挨拶をされた食料産業局食品流通課の高橋課長は、日頃の協力に対するお礼と、今後の緊急災害時における食料供給等の農林水産行政に対する更なる協力の要請、最後に協会及び本日より列席の各企業のますますの発展とご健勝を祈念され挨拶とされた。

事務局はここで本日の定足数の確認と報告をし、会の成立と共に、定款第15条により会長を議長に選出、会長は議長席に着席した。



定時総会にて挨拶する
國分勤兵衛 会長



定時総会にて挨拶する
農林水産省食料産業局
食品流通課課長
高橋和宏氏

議長は早速議案の検討に入った。

【報告事項】

第1号報告 平成27年度事業報告の件

第2号報告 平成28年度事業計画並びに収支予算の件

第3号報告 会員の動向に関する件

議長は事務局に対し、第1号報告から第3号報告までまとめて報告するよう指示があり、専務理事より主な事柄について手元に配布された資料に則り、次の内容を説明、また、平成28年度事業計画案について事務局より説明がなされた。

- ①消費税軽減税率制度に関する対応について
- ②食品流通事業者における複数税率を導入する際の課題と対応指針の検討について
- ③加工食品卸売業の「信頼性向上自主行動計画」～5つの基本原則～(改訂版)の作成について
- ④新型インフルエンザ等対策特別措置法について
- ⑤食品ロス削減のための商慣習検討ワーキングチームについて
- ⑥緊急時の通行車両の事前届出について

また、本日の理事会にて、入会、退会の承認を受けて現在の会員数は、正会員:111社 事業所会員:103事業所 賛助会員:129社 団体賛助会員:3社 となっている事を報告する。

【決議事項】

第1号議案 平成27年度決算報告の件

議長より、事務局に対し、第1号議案について報告するよう指示があり、専務理事より決算内容について手元に配布された資料に則り報告、また4月21日に年間の業務監査を受けた事も報告する。

議長はここで監事に監査報告を求め、味の素株式会社の品田監事は「去る4月21日に監事2名にて行われた監査の結果、業務報告を受け財務諸表及び帳票・証憑につき、適法正確に処理され報告の事実と相違ないものと認めました。」と報告がなされた。

議長は当該決算報告について承認を求め、拍手をもって異議なく承認された。

第2号議案 任期満了に伴う役員改選の件

議長より、今年度は任期満了による改選期であり、理事・監事候補について事務局より詳細を報告するよう要請する。

それを受け事務局より理事・監事の全候補者案について報告を行った。

報告を受けた議長は事務局案の承認を求め、拍手を以って異議なく承認された。

被選任者全員がその就任を承諾した。

第3号議案 会費の額及び徴収の方法の件

議長より今年度の会費の額及び徴収方法について、事務局から説明するように指示があり、額に関

しては、昨年自主申告いただいた売上額に基づく会費区分にて算定した額と同額を、また徴収方法については

- ①年額一括
- ②銀行振込み
- ③振込手数料は会員各位負担
- ④納付期限 平成28年 6月30日(木)

であることを専務理事が説明し、出席者の拍手を持って承認された。

第4号議案 その他

議長から、以上を持って本日用意した議案は滞りなく終了したが、他に何か意見や質問等があったら申し述べるよう伝えたが何も無かったので、本日出席されている六人の退任役員から、順次挨拶するようお願いし 上田弘・永津邦彦・堀内琢夫・竹内克之・大恵和夫・品田英明の6氏から、今日までのご協力に対して御礼の挨拶があり、更に國分勘兵衛会長が挨拶を行った。

最後に、新理事・監事を代表して國分晃氏から協会運営への決意と、一層の協力をお願いする挨拶があった。

議長は長時間の審議に対する御礼を述べ14時00分定時総会は無事閉会された。



定時総会にて挨拶する
國分晃 新会長



定時総会会場

理事会開催

平成28年度第2回理事会

日 時 平成28年 5月31日(火) 午前11時00分～12時30分
場 所 レベル21 東京會館 シルバールーム
東京都千代田区大手町2-2-2 アーバンネットビル 21階
電話(03)5255-1515
議 案 第1号議案 定時総会提出議案の確認の件
第2号議案 その他
出欠状況 理事総数 23名 出席理事17名
監事総数 2名 出席監事 1名
開 会 定刻となり奥山専務理事の司会により開会。

冒頭 國分勘兵衛会長より挨拶があり、早速議事に入った。

最初に事務局より出欠の状況について報告を行う。

理事総数23名中 17名出席 監事総数 2名中 1名出席 他にオブザーバーとして 9名同席

ここで本日の会の成立と共に定款第31条の規定により会長を議長にお願いし審議に入った。

第1号議案 定時総会提出議案の確認の件

議長より事務局に第1号議案の説明の指示があり、これを受け専務理事は、手元に配布した資料に基づき、退会申し出のあった事業所会員である香川県の三菱食品(株) 四国エリアオフィスについて説明、審議し退会を了承した。

次に議長は、前回の書面表決の理事会で承認をいただいた役員選任に伴う理事・監事の選任について全候補者の紹介を行い、その中からオブザーバーとして出席された 諸澤氏・竹内氏・森山氏・藤吉氏・守分氏・國分氏・角田氏・永津氏・竹内氏をそれぞれ紹介、本日の総会にて候補者案の承認を受けることを説明し、承認を受けた。

第2号議案 その他

第2号議案として事務局より、①「消費税の軽減税率制度に関するQ&A(個別事例編)」についてを配布された資料に基づき報告した。

最後に、各支部長より本部への要望事項や今年度の活動予定等に関して発表を要請、今年度は南の中・四国支部より順次北海道支部まで総会日程や行事予定等が発表された。

國分会長は各支部長へ労いの一言を申し述べたのち、この後予定している定時総会に一層の協力をお願いし、12時30分に無事終了する。

平成28年度第3回理事会

日 時 平成28年 5月31日(火) 午後14時00分～14時30分
場 所 レベル21 東京會館 シルバールーム
東京都千代田区大手町2-2-2 アーバンネットビル 21階
電話(03)5255-1515

出欠状況 理事総数 23名 出席理事 20名
監事総数 2名 出席監事 2名

議 案 第1号議案 新執行役員体制について

事務局より当理事会の出席者は、理事20名・監事2名である旨が報告され審議に入った。

議長については現時点で会長・副会長が選任されておらず、定款の定めによることが出来ないため、事務局より議長を選任する必要がある旨説明して候補指名を募ったところ、國分晃氏を推薦したい旨の発言があり、全会一致で議長に選任された。

國分晃理事が議長席につき、先刻の定時総会会場にて承認を得た改選後の理事の中から、新執行役員を選任するにあたり、政策委員会による会長選考委員会の結果を政策委員長の杉山理事から説明するよう事務局に要請した。

杉山理事から、國分晃理事を代表理事会長に推薦する選考委員会の案が示され、満場一致で承認された。

ここで新会長に選任された國分晃理事から、代表理事副会長として田中茂治理事・濱口泰三理事・森山透理事を、奥山則康理事を専務理事に、という執行役員体制が提案説明され、全員から拍手にて賛同を得た。

同時に選任された各理事からも了承を得た。

ここで新会長に選任された國分晃理事より協会運営への決意と協力依頼の挨拶があった。

これをもって議長は理事会を終了した。



理事会会場

新支部長に守分孝治氏(藤徳物産(株))を選任

— 中・四国支部 —

中・四国支部は、6月6日(月)15時よりホテルグランヴィア広島において定時総会を開催した。事務局の遠藤大治氏(藤徳物産(株))の司会進行で始まり、最初に定足数を確認し、支部長の大恵和夫氏(藤徳物産(株))が議長席に着いて早速議案の審議に入った。①平成27年度事業報告書承認の件②平成27年度決算報告書承認の件③平成28年度事業計画案承認の件④平成28年度収支予算案承認の件⑤役員改選に関する件を審議しいずれも原案通り拍手で承認された。新支部長に就任した守分孝治氏(藤徳物産(株))は「この場を本部とも連携して情報を共有し有意義な場としていきたい」と述べた。終了後、会場を移して賛助会員も合流して合同研修会を開催した。最初に、守分新支部長が開会の挨拶を述べ、ついで奥山専務理事が「日食協本部報告」を行って、講演に入り、「ロジスティクスの今とこれから～強靱な食品サプライチェーンの構築に向けて～」と題して流通経済大学流通情報学部教授工学博士矢野裕児氏が講演した。終了後、懇親会を行い、開宴のご挨拶を竹内康雄氏(旭食品(株))が行い、乾杯のご発声を副支部長の廣川雄一氏(広川(株))が行い、中締めを田代英樹氏(国分西日本(株))が行って閉会した。

中・四国支部新役員体制

役 員	氏 名	社 名	役 職
支 部 長	守 分 孝 治	藤徳物産株式会社	代表取締役社長
副支部長	廣 川 正 一	広川株式会社	代表取締役社長
会 計 監 査	本 橋 一 美	国分西日本株式会社 中四国本部中四国支社	常務執行役員中四国本部長 兼中四国支社長



中・四国支部合同研修会会場

軽減税率制度を継続調査研究

— 関東支部 —

関東支部は、6月13日(月)午前11時30分より東京大手町レベル21東京會館に於いて定時総会に先立ち幹事会を開催し、午後に行われる定時総会の議案の確認と本部事務局からの報告事項及び各地区の状況等について意見交換を行った。



関東支部定時総会で挨拶する 田中茂治支部長

午後1時より、定時総会を開催。奥山常任幹事の司会進行で始まり、最初に支部長の田中茂治氏((株)日本アクセス)が開会の挨拶を行い、「食品卸企業の社長が昨年から今年にかけて多く交代、新しい経営をして欲しい。消費増税の先送りは決まったが景気と消費の先行きは不透明。小売も生鮮と惣菜、値上げ効果により既存店売り上げは伸びているが、冷凍食品は物量が微減、乾物・乾麺も減少。NBメーカーの皆さんは欲しいと思える商品を提案してほしい。卸もNBを担いでこそ商売になる」その後議長席に着いて議案の審議に入った。第1号議案平成27年度事業活動報告の中で奥山専務理事は、本部活動報告として、「消費税の軽減税率制度の導入は先送りになったが、業界としての対応方針の検討は続けていく」と述べ、今年度も引き続き軽減税率

制度の調査研究事業に重きを置く考えを示した。日食協は2015年度から軽減税率制度の調査研究を開始。12月の同制度の導入決定を受け、(一財)流通システム開発センターが事務局を務める情報志向型卸売業研究会(卸研)に対応方針の検討を要請、会員卸各社へのアンケート調査を通じて課題の抽出などを進めてきた。卸研はリポート項目別の軽減税率へのあり方や政府が求める適格請求書等保存方式(インボイス制度)への移行課題などをとりまとめた対策資料を今年の3月に公表。この中ではメーカー・卸間の標準EDI書式(日食協標準フォーマット)への税率区分項目の追加をはじめ業界団体への具体的要望事項なども整理した。また国税庁も日食協ほか流通事業者・団体から寄せられた質問をもとに、軽減税率制度の適用の可否などに関する詳細なQ&Aを4月に公開した。日食協はこれらをベースに加工食品卸業界向けの対応ガイドラインを取りまとめる方針。安倍内閣は今月1日消費増税の再延期を正式に発表、軽減税率の導入も先送りになったが、このまま対応活動を継続する。日食協や卸研の軽減税率制度の研究は、会員企業各社の実務者を中心に行われており、ブランクを空けると担当者の異動などで積み上げきた知見が失われる可能性もあるからだ。事業者間取引における軽減税率への対応課題は複雑で多岐にわたる。知見が保たれている今のうちにガイドラインを仕上げるスケジュールだ。総会後は、国税庁の担当者を招いて、同制度の概要やQ&Aに基づく個別事例、適格請求書保存方式(インボイス制度)などについて解説を行った。



講師を務めた 国税庁課税部消費税軽減税率制度対応室主査 池永晃造氏

(以下に定時総会議事録を掲載)

日 時 平成28年6月13日(月) 13:00～14:20
場 所 レベル21 東京會館 スタールーム
出席状況 会員43社中 出席22社 委任状13社 計33社

定刻 奥山常任幹事の司会兼事務局の発声により開会。

冒頭 田中茂治関東支部長(㈱日本アクセス)が、本日のご参集と日頃の弊協会へのご協力に対して会員はもとより特に賛助会員に対する御礼を述べたのち、次の様に言葉を続けた。

日本加工食品卸協会は昭和52年5月に設立され今年で39年目を迎え、公益法人制度改革の対応として名称を“一般社団法人日本加工食品卸協会”に変更して5年目となる。現在、111社の会員と104事業所、及びメーカー賛助会員129社、団体賛助会員3社の合計347の企業及び事業所にて運営されている。北海道から九州・沖縄まで全国8支部で活動しているが、うち、関東支部は会員卸43社、事業所会員33事業所を傘下に持ち支部の中でも最大規模で、特に本部と連動した実践活動を行っている。

本年の関東支部の事業活動としては、継続して4つの物流に関する調査事業(①物流コスト ②返品調査 ③在庫回転日数調査 ④物流動向調査)と人材育成事業として、研修会を予定している。

加工食品卸業界も昨年から今年にかけてずいぶん変わります。私自身も会長となりますが、日酒販さんや三菱食品さん、地方でも旭食品さんやカナカンさんも変わります。一つの大きな節目に来ています。いずれにしても鮮度を保持して良い経営をして業界を盛り立てて頂きたい。再増税が延期されてほっとしている人もいるかもしれないが、より一層不透明になっただけで、決して再増税になって景気が良くなると保証されたわけでもない。消費も、売上が上がったのは生鮮、惣菜で、あるいは加工食品の値上ががあってこそその売上拡大だった。実態は、冷食なども物量はダウン。物量自体は減ってゆき、値上があれば潤うところもあるが、これからマーケットが不透明な中で、むしろ外食産業が値下げ、低価格に走っているが、消費は活発化しない。これは経済環境、値上が浸透しないという環境要因ばかりではなく、我々自らの責任もある。本当に物は余っている、生活が苦しいわけではなく、欲しいものが無いだけ。欲しいものがない中でどうやって消費を増やすかといえば、やはり欲しいと思われるものを皆さんが作っていただいてこれを販売して行く、ということに尽きると思う。日本の食品卸業界は皆さんのナショナルブランドを担いで拡大して行かなければならない。ナショナルブランドをぜひ、ニーズに合う価値のある商品化して頂きたい。皆さんの若い人にぜひマーケットを切り開いて拡大して頂きたい。

終了後、特別講演会として国税庁の方に講師をお願いして、先送りになった軽減税率制度について、特に、Q&Aを中心に講演をいただくことになっています長時間になりますが、最後までお付き合い下さい。と挨拶された。

続いて事務局は本日の出席者及び委任状の状況を報告した。

会員総数 43名 出席会員 22名 委任状 13名 合計 35名

ほかに 事業所会員 4名 賛助会員 65名 が出席

従って関東支部規約第13条第1項の定足数を満たしており成立することを報告。

ここで、支部規約第9条により田中支部長が議長席に着席した。

議長は議事録署名人として、株式会社サンヨー堂 新網殿と、国分グループ本社株式会社 内藤殿を指名、両氏が承諾し議事に入った。

第1号議案 平成27年度事業報告に関する件

第2号議案 平成27年度収支決算報告に関する件

議長より事務局に両案続けて説明する様指示があった。これを受けて事務局は、5月31日(火)に開催された本部の定時総会に於ける状況報告を含めて会報Vol. 194号を資料として次の如く報告を行った。

1) 本部事業活動報告

2) 関東支部活動

・関東支部流通業務委員会活動報告。

・関東支部の収支決算(前期繰越額303,444円、当期収入合計1,500,142円当期支出合計1,476,924円、次期繰越収支差額326,662円、各予算費と内容概要)

合わせて、会計監事の伊藤忠食品(株) 神保敏郎氏に監査を受けたことを報告。

ここで議長は、会計監事の神保氏に監査結果を報告するよう要請した。

神保会計監事は「5月18日(水)に日食協の事務所において、監査を行い、全てに関して正確である事を確認した」と報告された。

議長は両案の質疑を求めたが無かったので、承認を求め、拍手で承認された。

第3号議案 平成28年度事業計画案に関する件

第4号議案 平成28年度収支予算案に関する件

議長よりこの両案について、事務局よりを続けて説明する様に指示し、事務局はこれを受けて、別添の両案を資料とし、協会の事業計画を演繹して関東支部事業計画を策定し、担当別予定まで流通業務委員会で討議策定した計画案を説明した。そして収支予算として前期繰越額 326,662円、当期収入合計1,608,500円、当期支出合計1,560,000円、次期繰越額 375,162円の予算内容を説明した。

議長はこれについての質疑を求めたが、無かったので承認を求めた所、拍手で承認された。

第5号議案 役員の改選の件

議長は事務局に内容を説明するよう要請。

事務局より、本年は役員改選時期のため、事前に各理事・会計幹事に就任承諾を打診したところ、

会社人事の都合等で一部役員から交替の申し出を受けたことを説明。

本日、総会前の幹事会において、後任者案の承認を得たことを報告し、同時に総会資料に基き役員案を読み上げ、その場で拍手をもって承認された。また被選任者全員もその就任を承諾する。

第6号議案 その他

議長より当総会場にて審議を必要とする他の問題提起を求めたが無かったので、事務局側から報告事項が有ったら説明するよう要請があり、事務局は「緊急災害時の食料供給体制」について会報記載内容について補足説明を行った。

最後に議長は、本日の全ての審議事項が滞りなく終了した事を告げ、14時15分に総会は終了した。

以 上



関東支部幹事会会場



関東支部定時総会会場

関東支部新役員一覧

役 員	氏 名	社 名	役 職	備 考
支 部 長	田 中 茂 治	(株)日本アクセス	代表取締役会長	
副支部長	内 藤 悟	国分グループ本社(株)	取締役常務執行役員	
副支部長	福 住 卓	国分首都圏(株)	代表取締役会長	
副支部長	田 中 康 紀	三井食品(株)	執行役員首都圏量販第一本部長	
副支部長	島 垣 研 二	(株)サンヨー堂	代表取締役社長	
副支部長	片 岡 博 彰	三菱食品(株)	営業第一本部長	新任
会計監事	神 保 敏 郎	伊藤忠食品(株)	東日本営業本部副本部長	
幹 事	松 川 隆 志	日本酒類販売(株)	代表取締役社長	
幹 事	後 藤 毅	(株)ヤグチ	商品部部長	
幹 事	鈴 木 義 之	コンタツ(株)	物流統括部部長代理	
幹 事	鈴 木 勉	(株)升喜	商品政策部部長	
幹 事	小 池 智	(株)丸水長野県水	代表取締役社長	新任
幹 事	柳 澤 達 哉	一神商事(株)	代表取締役会長	
幹 事	大久保徳政	国分関信越(株)	代表取締役社長	
幹 事	山 口 茂	ヤマキ(株)	代表取締役社長	
幹 事	諸 澤 隆 芳	ユアサ・フナショク(株)	代表取締役社長	新任
幹 事	田 村 悟	武田食品(株)	取締役部長	
幹 事	増 子 幸 吉	常洋水産(株)	取締役営業本部長	
幹 事	高 橋 定 男	群馬県卸酒販(株)	代表取締役社長	
常任幹事	奥 山 則 康	日 食 協	専 務 理 事	

新支部長に永津嘉人氏(トーカン(株))就任

— 東海支部 —



東海支部総会で挨拶する
永津邦彦前支部長

東海支部は6月22日、平成28年度定時総会を開催、東海支部会員など13名が出席した。当日は支部長の永津邦彦氏の挨拶にはじまり、上程された各議案を全て原案どおり承認。東海支部の支部長は、支部正会員の本部理事が就く慣例があり、今回の総会をもって支部長が永津邦彦氏((株)トーカン)から永津嘉人氏((株)トーカン)に引継がれた。前支部長は「本部役員の若返りにそうものであり、本部理事とともに支部長を引き継ぐこととした。本部理事及び東海支部長として18年間つとめさせていただき、微力ではありましたが業界の発展、東海支部の発展に貢献してきました。食品流通業界は未だ変化が大きい。競争と協調を使い分け変化に対応していかなければならない。引き続き新たな支部長のもと、会員の皆様の英知を集め競争と協調に磨

きをかけてほしい」と退任挨拶を述べた。ついで新支部長が「本部理事に推薦され就任いたしました。若輩ものではありますが、本部とのパイプ役としてフットワーク良くつとめたい。卸業界には業界全体の課題やエリア特有の問題等様々な難題があるが、日食協として課題ごとに適切な対応を行っている。支部会員の皆様と力を合わせてつとめをはたしたい」と挨拶。その後日食協本部の奥山専務理事が協会の事業活動について報告し閉会した。その後中部食料品問屋連盟の総会終了後、中食連と日食協の共催による合同講演会が行われ講師に東洋大学経済学部菊池宏之教授をお招きし「消費者変化と小売業対応を受けての卸売業としての課題」と題して講演していただいた。内容的には商業全体の傾向や近年の消費拡大化の背景、ミドルエイジの取り込みの重要性などを紹介。特に飽食時代の後に価値を重視する時代が到来するとの予想は聴衆の関心を集めた。



東海支部総会で挨拶する
永津嘉人新支部長



講演する
東洋大学 菊池宏之教授



合同講演会会場

新支部長に佐藤淳氏(佐藤(株))が就任

— 東北支部 —



賛助会員連絡会で挨拶する
堀内琢夫前支部長

東北支部は6月27日(月)午前11時45分よりホテルモントレ仙台に於いて定時総会を開催した。副支部長の物井 敦氏(国分東北(株))の司会進行で始まり、最初に支部長の堀内琢夫氏(丸大堀内(株))が開会の挨拶として「16年間支部長をつとめたが、就任以来支部活動のあり方をいろいろ検討し変えてきた。皆様のご協力に感謝する」と述べた。続いて定足数の確認を行って議案の審議に入り、①平成27年度事業活動報告 ②平成27年度決算報告 ③平成28年度事業活動計画及び予算 ④役員改選の件を審議し、全て原案通り拍手で承認された。その後今秋開催予定の経営実務研修会の講師等について検討した。昼食後賛助会員も合流して午後1時から賛助会員連絡会を開催した。司会進行を事務局の佐藤高志氏(東北国分(株))が行い、最初に

堀内支部長が開会の挨拶を行い、「16年前、國分勘兵衛会長から支部長就任の要請があつて引き受けた。当初2期4年ぐらいと考えていたが、16年たった。当社においても社長から会長になったことで、退任を決意した。支部長を務めてよかったと思っている。東北のみならず、全国の卸が抱えている問題について共通認識を持ち得たし、広角でものの見方ができた。食品卸はわが国の風土に必要な存在だ。支部長を退任するが側面から支援していきたい。また日食協は未来永劫続くので新支部長を支えて下さい」と謝意を示した。続いて新支部長に就任した佐藤 淳氏が挨拶し「東北の食品流通業界は縮小する市場で成熟、飽和状態にある。小売業界は業態間競争が激化し、消費行動はますます多様化してきている。流通環境の変化は著しい。この変化にどう対応するか、日食協の活動の意義は大きく、会員、賛助会員の理解があつて進んでいく。目の前には人口減少、少子高齢化、人手不足など厳しい現実もある。ともに知恵を絞り乗り切っていきたい。東北支部として団結していきたい」と抱負を述べた。ついで賛助会員企業を代表して、高瀬将人氏(味の素(株))が挨拶し「食品業界の発展の要として新支部長におおいに期待したい」と述べた。この後奥山専務理事が日食協事業活動報告を行い閉会した。



賛助会員連絡会で挨拶する
佐藤淳新支部長

東北支部新役員体制

役 員	氏 名	社 名	役 職
支 部 長	佐 藤 淳	佐藤株式会社	代表取締役社長
副 支 部 長	物 井 敦	国分東北株式会社	代表取締役社長
会 計 監 事	矢 野 秀 弥	株式会社山形丸魚	代表取締役社長

新支部長に濱口泰三氏(伊藤忠食品(株))が就任

— 近畿支部 —

近畿支部は6月28日(火)太閤園に於いて定時総会を開催した。総会は、定刻を早めて12時30分より開催され、事務局の小林正典氏(伊藤忠食品(株))の司会進行で始まり、最初に副支部長の小林隆夫氏(加藤産業(株))が開会の挨拶を行い、「イギリスがEUを離脱することを考えると、何より協調することの大事さを実感する」と述べた。ついで事務局が定足数の確認を行い、副支部長が支部長代理で議長席に着いて議案の審議に入った。①平成27年度事業報告に関する件②平成27年度収支決算報告に関する件を一括して事務局が説明し、会計監事の角田勇吉氏(五大物産(株))が監査報告を行い拍手で承認された。ついで③平成28年度事業計画(案)に関する件④平成28年度収支予算(案)に関する件を一括して事務局が説明し拍手で承認された。最後に⑤任期満了に伴う役員改選に関する件を審議し、拍手で承認された。全ての議案審議が終了し、新支部長の濱口泰三氏(伊藤忠食品(株))が挨拶し「文化と制度を大事にしながら、卸としての誇りを忘れず取り組みたい」と述べた。ついで新幹事の角博之氏(国分西日本(株)株)が挨拶。最後に奥山専務理事が、本部役員改選と軽減税率制度についての今後の取り組み対応について説明し閉会した。

近畿支部新役員体制

役 員	氏 名	社 名	役 職
支 部 長	濱 口 泰 三	伊藤忠食品株式会社	代表取締役社長執行役員
副支部長	小 林 隆 夫	加藤産業株式会社	専務取締役
会 計 監 事	角 田 勇 吉	五大物産株式会社	代表取締役社長
幹 事	角 博 之	国分西日本株式会社	専務執行役員



近畿支部定時総会会場

中間流通業としての存在意義、役割を再認識する

— 北陸支部 —

北陸支部は、7月4日(月)午前11時よりホテル日航金沢に於いて、午後から開催される定時総会に先立ち役員会を開催した。総会の議案内容の確認が主な内容であるが、昨年会場の日程が取れず開催ができなかった経営実務研修会の日程や講師の選定についても意見交換を行った。昼食後、定時総会を開催。北陸支部長の荒木 章氏(カナカン(株))の司会進行で始まり、最初に出席した会員全員が自己紹介を行った。ついで議案の審議に入り、

①平成27年度事業報告ならびに収支決算報告

②平成28年度事業計画ならびに収支予算

③役員改選

支部長がそれぞれの事業内容、計画を報告し、会計幹事代理の中野義之氏(石川中央食品(株))が収支決算内容及び収支予算案を報告、会計監事の藤井伸子氏(マルコク(株))が監査報告を行い、全て原案どおり拍手で承認された。最後に、任期満了に伴う役員改選を審議し全役員が重任となった。

全ての議案審議が終了後、奥山専務理事が「日食協事業活動報告」を行い、本部新執行役員体制や消費税の軽減税率制度に関する協会の対応方針等について報告した。

最後に、荒木支部長が閉会の挨拶として最近の製品事故によるメーカーの回収問題にふれ「卸売業としては仕入先等を含めてチェック機能を持ち合わせる事が重要であり、中間流通業としての存在意義、役割を再認識することが重要」と述べ閉会となった。



北陸支部定時総会会場

北陸支部新役員体制

役 員	氏 名	社 名	役 職
支 部 長	荒 木 章	カナカン株式会社	代表取締役会長
副 支 部 長	澤 田 悦 守	北陸中央食品株式会社	代表取締役社長
会 計 幹 事	奥 野 潔	石川中央食品株式会社	代表取締役社長
幹 事(監査)	藤 井 伸 子	マルコク株式会社	代表取締役社長
幹 事	山 田 博 文	株式会社田中與商店	代表取締役社長

自我作古(じがさっこ)の精神が重要

— 北海道支部 —

北海道支部は7月11日(月)14時20分より京王プラザホテル札幌に於いて定時総会に先立ち常任幹事会を開催し、この後行われる定時総会の議案内容の確認や懇談会の内容、今年度の海外研修、平成29年新年交礼会等について打ち合わせを行った。



北海道支部定時総会で
挨拶する村山圭一支部長

15時から定時総会並びに日食協懇談会が開催された。事務局の濱 幸利氏(スハラ食品(株))の司会進行で始まり、最初に支部長の村山圭一氏(スハラ食品(株))が挨拶し、「この半年の間に様々な出来事、変化があった。経済環境が再びデフレ化することが懸念され、地域的には札幌圏への一極集中が進み地域格差がますます広がる見込み。北海道への訪日外国人観光客は190万人であるが、リピーターをどう増やしていけるかが重要。北海道新幹線の影響はあまり出ていないので早期に札幌圏への延伸が望まれる。今こそ福沢諭吉先生の自我作古の精神が重要」と述べた。『自我作古(じがさっこ)＝前人未到の新しい分野に挑戦し、たとえ困難や試練が待ち受けていても、それに耐えて開拓に当たる勇気と使命感』

ついで事務局が定足数を確認して議案の審議に入り、①平成27年度支部事業報告に関する件②平成27年度支部決算報告及び監査報告を一括して審議し拍手で承認された。続いて③平成28年度支部事業計画(案)に関する件④平成28年度支部事業予算(案)⑤その他を一括審議し、いずれも全て原案どおり拍手で承認され総会は終了した。ついで日食協懇談会の次第に入り、支部活動状況報告をWG代表の小島 亨氏(日本アクセス北海道(株))が行い、最後に奥山専務理事が「本部事務局報告」を行った。休憩後講演会に入り、ネットイヤーグループ(株)取締役オムニチャネルクラウド事業部長佐々木裕彦氏が「オムニチャネル時代の食品スーパーの成長戦略」と題して講演された。終了後、支部・賛助会員共催懇親会が行われ開会の挨拶を賛助会員世話人代表の久我章良氏(北海道味の素(株))が行い、中締めを副支部長の成田祐一氏(日本アクセス北海道(株))が行って閉会した。



講演する
ネットイヤーグループ(株)取締役
オムニチャネルクラウド事業部長
佐々木裕彦氏

平成28年度 北海道支部役員

役 員	氏 名	社 名	役 職
支 部 長	村 山 圭 一	株式会社スハラ食品	代表取締役会長
副支部長	成 田 祐 一	日本アクセス北海道株式会社	代表取締役社長
副支部長	黒 澤 良 一	国分北海道株式会社	代表取締役社長
会計監事	中 川 英 二	三菱食品株式会社北海道支社	常務執行役員支社長
常任幹事	小 田 彰	北海道酒類販売株式会社	代表取締役社長
常任幹事	河 野 均	加藤産業株式会社北海道支社	執行役員支社長
常任幹事	荏 野 尚 人	三井食品株式会社北海道支社	支社長